

特徴的な尾根の配置が把握できれば、現在地を把握するのに十分な場合が多い。しかし、等高線から傾斜をイメージできるようになれば、より詳細に尾根の形の違いを見分けることができ、現在地把握に使える情報はより多くなる。これによって、ある尾根上でどこにいるかを把握したり、尾根や山座の同定が可能になる。ここでは、等高線から傾斜をイメージするための基礎について、問題を通して学んでいこう。

練習問題 基本の傾斜イメージ

下の図a~dはいずれも地形を横から見たもの(プロフィールという)だが、それぞれに対応する等高線図を①~④の中から選択せよ。

